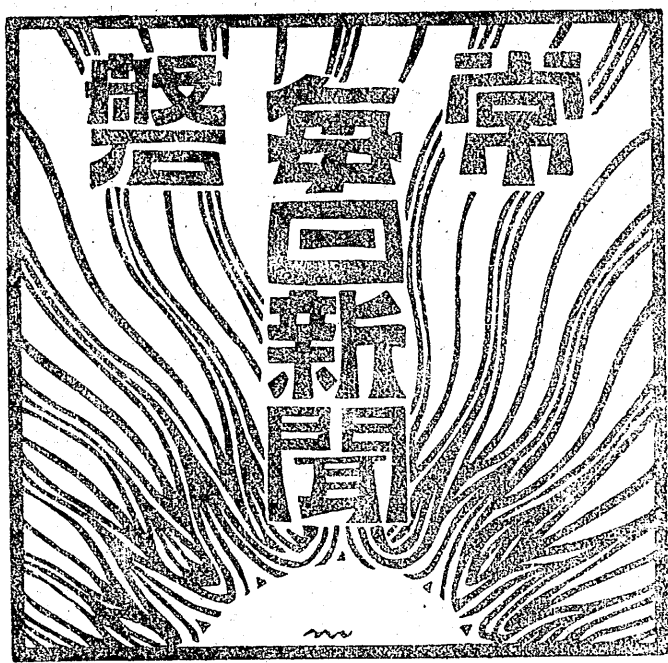


發行兼編輯人 川崎文治  
 本社下町番地（電話六三〇番）  
 印刷所 常盤毎日印刷所



定価 一部金武銭  
 一月五圓  
 半年三十圓  
 一年六十圓  
 廣告 五字一圓  
 十字二圓  
 二十字三圓  
 三十字四圓  
 五十字五圓  
 刊行日 隔日  
 印刷日 隔日  
 印刷所 常盤毎日印刷所  
 電話六三〇番

刊夕日九十二月三

常盤毎日新聞  
 本小學校學童  
 貯金に就て  
 錦華小學校校長 荒井一三

（三）

其の中には上流の家庭に生れながら桑摘みをなす其の摘賃を以て之れに充當したるものあり實に見事な勤勞に訴へて自己が自己の力によりて貯金したてふ立派なイビントを有するもの多敷あることを痛快に思ふ者であります。昨年十三年十一月十一日勤儉週間の折はれ迄事情のために貯金し得なかつた兒童百餘名に對し

局長馬上氏は拾錢づゝ貯金して獎勵のため與へたる結果より本校兒童にして通帳を持參せざる者なく、從つて今日の如き貳千四百餘圓の多額の金に達し得たるものと思ひます。何事に依らず世の中は協同一致お互に感應の生活でなければならぬと深く考へました、特に教育は教育者對兒童とのみ考へたなら大間違ひです。ここに保護者といふ第三者のあることを忘れてはなりません。即ち第三者の後援は偉大なものであります。所謂環境の教育であります。環境は出来るだけ整理してかゝらねば切角の教育も彼

一冊の代金で御希望通りの五冊の雑誌が自由に讀める川崎巡回文庫  
 電話六三〇番  
 （申込次第規則書進）

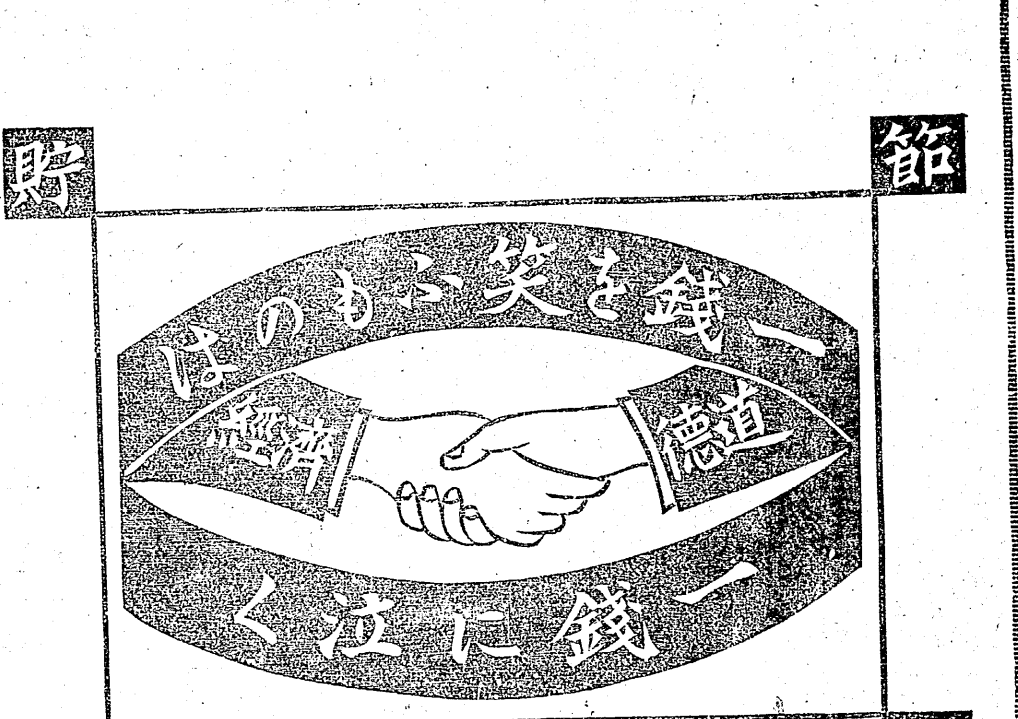
正七位勳六等武川教義  
 儀 永々病氣ノ處養生不相叶三月廿七日午前十一時死去致候間御通知ニ代へ此段謹告仕候  
 追而來ル三十一日午後二時自宅出棺中町長源寺ニ於テ佛式ニ依リ葬儀相營ミ可申候  
 大正十五年三月廿九日

男 武川 信憲  
 男 澤川 隆信  
 親戚總代 廣山 武  
 友人總代 滑川 直秀  
 會 松井 英郎  
 廣山 順夫  
 澤川 世夫

本會々長正七位勳六等武川教義先生豫テ御病氣ニテ御静養中ノ處去廿七日病勢革マリ午前十一時永眠セラル候間此段會員諸君ニ謹告ス  
 追而來三十一日午後二時自邸御出棺常町長源寺ニ於テ佛葬御執行相成ルベク候  
 大正十五年三月廿九日  
 福島縣平商業學校  
 友友會

園兒募集  
 一、定員 六十名  
 一、資格 五歳より學齡まで  
 一、新學期開始 四月五日午前十時  
 『規則書希望ノオ方ハイッデモ幼稚園ニオ下サイ』  
 平信榮幼稚園  
 平町材木町  
 電話一〇番

五種 體操 算計 國内藥局  
 寒暖計 電話四〇番



約 子供さんの……  
**お使ひ獎勵**  
 はかり賣一升以内のお使には  
 一錢をさし上げます  
 ヤマフルの德利をお持下されば  
 一錢をさし上げます  
 ちりもつもれば  
 山ごなる  
 鹽屋  
 山崎合名會社營業部  
 電話一〇番

### 櫻の開花期に 懸賞 廣告行燈行列を 本社が大々的に催す

松ヶ岡公園の櫻は今や本縣下に於ける花見名所の一つとして各地に紹介されるに至りました。本年は町當局に於ても設備萬端遺漏なきを期して更らに櫻花を美化するに努め遠來の觀櫻客をして心行く迄花見氣分に浸透せしめずんば止まざる計劃との由では是れは櫻を中心にして平町の繁榮を圖る意味に於て喜ばねばならぬ所であります。本社は茲に見る所があり櫻の開花期を目掛けて大々的に盛んな「懸賞廣告行燈行列」を催す計劃であります。此企ては平町の各商店を外來の人に徹底せしむると同時に廣告術の研究ともなり且つ櫻の平町をして一層の賑はりを高調せしむる事が目的であります。其詳細に亘つては近く發表の豫定であります。何卒其節は本社の此舉を賛せられて御援助を賜らん事を唯今から豫め願つて置きます。

### 常磐毎日新聞社

### 湯本トンネルの擴張は 丹那隧道に次ぐ難工事

常磐炭田の發展から  
大なる犠牲を拂つて

(既報)常磐線湯本綴間の傾城山隧道は明治三十年二月廿五日日本鐵道開通當時の工事に於て其の後常磐炭田の發展に伴へ隧道下には礦脈四通八達し最近

### 石炭輸送

に使用する大型機關車並車輻運轉上支障からぬといふので東京鐵道局では豫算百萬圓を投じてトンネル擴張工事を断行する事となり既に入札の結果東京大丸組の請負ふ處となつて掘鑿並に換氣の作業を開始し之と同時に列車

### 單線運轉

をなす晝夜兼行にて工事を急いであるが竣工迄には三百日以上を要すると云はれ熱海線丹那トンネル工事に亞ぐ大工事を請負者間に仲々手を出す者がなかつた程のもので延長二千三百三呎五町三十五間にして

### 東鐵管内

に於ける隧道延長十一萬五千五百三十一呎中複線のものでは第一位を占め百分の勾配なる

を以て作業に従事する工夫が作業中窒息するの憂ひもあるといふので數ヶ月に亘つて専門的の技術家が詳細を調査した結果愈々工事を断行するに到つたのである

### 十一條の支線道路が 櫻花の新川畔へ

各町からの連絡簡便で  
平町今春の賑ひ豫想

平町南裏の支線道路は一兩年前來の繼續事業として既に先年中その幹線路を完成し之に沿ふて逐日増加しゆく新築

### 家屋の

市街化により同方面一帯は近來著しく新興の氣分が漲つてゐるが之と同時に大通り方面から新道路を横断して新川畔に通ずる大小十一條の支線道路も着々竣工の域に近づきつゝあり而も右支線路は縣社前新築訓官院西側、欣淨寺東側、軍法律事務所、(元寫眞館)西側、松本樓西側、郡役所通り星眼科院西側、稅務署長住宅東側、片倉組製糸乾燥場裏の以上九線に新幹線道路の起點終點なる長橋町新川町直後の二線を加へ合計十一線を算し従つて大通り方面の何れからするも直に新川畔に

### 連絡す

るの便あるに至つたので本年新川はたの夜櫻見物は從來月見日子兩橋畔よりした道順の不便なりしに反し前記十一線の新道路が吞吐する群衆に

### 平農會の豫算

平町農會にては昨日午前十二時から町役場に役員會を開き大正十五年度豫算を附議したるが来る卅日午前十時より總會に諮る由

### 赤井組長協議

石城郡赤井村大字赤井の衛生及び火防組長廿二名は廿八日午前十時より同村第一小學校に參集し種々協議したる由

### 四尺の築堤

夏井校の水害豫防。消防組が出勤。石城郡夏井村消防組は同村小學校の水害豫防の爲め同校周囲に高さ四尺餘の築堤を爲すべく廿八日から毎日組員五十名宛交替出勤する

### 青年事業視察

石城郡警備隊青年團副團長大平武一、幹事酒井義雄、吉田直文の三君は廿九日より郡内青年團事業視察を爲すと小名濱で

### 一二階に落雷

屋根が燃ゆ。石城郡小名濱町字仲見町鈴木健治方に去る廿五日午後八時廿分頃落雷あり二階の屋根約二尺四方を燃え抜き大騒ぎを演じた

### 磐崎村謠曲會

石城

### 敷地の地均

終つて訓練。石城郡湯本消防組にては來月四日午前八時迄に全員を同町小學校に集め新築校舎敷地の地均工事を應援せしめ午後からは訓練を行ふ由

### 下水で溺死

十三歳の少年。テンカンの爲め。石城郡飯野村大字小泉字西石工源藏二男田中仁三郎(七)は廿八日午前七時半頃同村吉野谷の下水堀に墜落溺死したが同人は性來テンカン持ちであつたと

### 小野田夜警終了

石城郡警備隊小野田炭礦商業組合にては昨年來から夜警を實行して居たが廿五日を以つて終了した由

### 半生以上を教育に獻げ 武川平商校長遂に逝く

月俸八圓の訓導を振出しに  
今日迄四十四年間

平商業學校長武川教義氏は遂に廿七日午前十一時永眠した享年六十三歳、因に氏は明治十六年本縣中等師範學校を卒業し月俸八圓の福島小學校訓導を振出しに各地小學校郡視學等を歴任大正四年十一月文部省から教育功勞者として表彰され其後奏任待遇を以つて遇せられ四十四年間一生を教育事業に捧げ大正九年五月平商業學校創立とともに同校校長

### 就職難の歎

年少者に迄  
紹介所の昨今。平職業紹介所では本年度から平町外郷接數ヶ村に於ける小學校卒業生の紹介をな

すことなり去月末所員が其斡旋につとめつつあるに拘らず關係各小學校よりの求職者廿名中既に紹介を了した者は僅に五名に過ぎぬ状態であるが右に關し花澤吏員は語る求人者は小學校卒業生年輩の者に對して

### 自轉車を

希望し  
年奉公。を希望してゐるが「求職者は就職後直に収入ある方面を希望してゐるので中々まとまらない東京方面を希望してゐる者は何れも夜間通學等の條件づきの者ばかりで目下それ等に對しても照會中で既に紹介した者は給仕

### 平就學兒童 男女約六百

平第一小學校の新入學兒童總數は二百六十五名、第二校同二百九十四名であるが其内去る廿五日の体格検査を受けず且つ就學の手續きを運ばないのは第一十九名第二十七名である

### 小松局長視察

小松平郵便局長は廿七日好間村の炭礦方面に於ける郵便配

達狀況を視察したと

### 小田炭礦

吹きマクらる。廿七日の強風に石城郡好間村小田炭礦にては去る廿七日の強風にて坑夫長屋の板塀其他を散々に

### 募集

文藝其他投稿を募集します

### 平町人事

吹き倒され被害が仲々に多  
△出生  
△研町二〇 渡邊廣三氏長女敬子  
△死亡  
△長橋町三〇 及川幸三郎(三四)